

災害安全（震災）小学校 第3学年 防災教育年間指導計画（例）－総合的な学習の時間を中心に－

安全教育目標

南海トラフ地震に備え、自分の命を自分自身で守ることができる知識と対応力を身に付け、地域防災に参画できる児童の育成。

防災教育目標 第3学年（災害安全）

地域の人々とのつながりを深めながら、防災意識を高め、災害時には自分で判断し行動できる。

各教科

社会科

【わたしのまち みんなのまち】

- ・学校のまわり
- ・市の様子

【暮らしを守る】

- ・火事から暮らしを守る
- ・事故や事件から暮らしを守る

単元名 わたしたち〇〇の町を守ってもり上げ隊 ～防災編～（18時間）

総合的な学習の時間

単元目標

- 知識及び技能
【自在に活用することが可能な知識・技能の獲得】地域の防災上の課題を知り、地域の防災活動のねらいや内容を理解する。
- 思考力・判断力・表現力
【課題を解決する力】地域の防災担当の方の願いや地域の方の防災意識について知り、自分にできることは何かを考え、まとめることができる。
【伝え合う力】地域の防災力を強めるために自分たちができていることを考え実践したことや調べたことをまとめ、地域の方に工夫して伝えることができる。
- 主体的に学習に取り組む態度
【自分の生き方を考える力】地域の防災担当の方の願いや地域の方の防災意識について知り、地域のために自分にもできることは何かを考え、地域の一員として関わろうとすることができる。

【出会う】11月（4時間）

- 地域の避難訓練の参加状況から課題意識を持つ。（2時間）
- 地域の防災コミュニティーセンターへ行き、現在行っている防災の取組や課題について地域の防災担当の方から話を聞く。（2時間）

【調べる】11月（5時間）

- 調べる方法や内容について話し合う。（1時間）
- 商店街に行き、お店の人やお客さんなど地域の方に防災意識について調査する。（2時間）
- 調査結果からわかった理由や課題を整理し、今後の学習の課題設定をする。（1時間）
- 調査結果から学習会へ参加したときにやりたいことや発表したい内容を考える。（1時間）

【まとめる】11月～12月（5時間）

- 発信したいテーマを選び、「命を守る防災BOOK」や書籍などを活用しながら防災に対する備えについて調べ、研究レポートにまとめる。（2時間）
- 同じテーマのグループの友達と調べたことやこれまで学習したことをもとに伝える内容や伝える方法について話し合い、準備をする。（3時間）

【発信する】12月（4時間）

- 学習会に参加し、地域の人に向けて方法を工夫しながら表現し発信する。（3時間）
- 学習会の参加者の感想やこれまでの取組を振り返り、自分たちの変容を振り返る。（1時間）

特別活動

学級活動

【図書室で地震が起こったら】

・地震が起こったときに、図書室がどのような状況になるか事前に写真から学習し、図書室での「自分の身を安全に守るためにできることは何か」を考え、避難訓練（学級独自）を行う。

【給食の配膳中に地震が起こったら】

・配膳中の「自分の身の安全を守るためにできることは何か」を考えた。揺れに対して、「配膳台の下に潜る」「食缶に熱いものが入っている場合はその場から離れる」等、様々な場面での避難訓練（学校独自）を行う。

学校行事

【1学期】

- 第1回避難訓練 ●第2回避難訓練 ●第3回避難訓練（引き渡し訓練） ●第4回避難訓練
- 参観日を活用 ●起震車体験 ●着衣水泳 ●運動会 ●宿泊研修

【2学期】

- 第5回避難訓練（シェイクアウト参加） ●第6回避難訓練 ●第7回避難訓練（津波防災の日） ●第8回避難訓練 ●修学旅行 ●音楽発表会

【3学期】

- 第9回避難訓練 ●第10回避難訓練 ●第11回避難訓練
- 学習発表会 ●避難行動・避難誘導